

「本当に伝えたい！！ いのちの授業～臓器移植～」

に向けて～事前学習～

こんにちは。
東京学芸大学附属国際中等教育学校の
佐藤 毅(さとう たけし) と申します。

- ▶ この「本当に伝えたい！！いのちの授業～臓器移植～」は
- ▶ 事前学習（1コマ）＋当日（2コマ）
＋事後学習（1コマ）
- ▶ という構成になっています。

さて、まずはじめに...

このマンガを観てください！！

そして、一言 感想を

- ▶ 誰もがオギヤーと生まれてから、残念な表現ですが死に向かって生きていきます。
- ▶ なかなか普段の生活でこんなことを考えて生きていませんが、自然の摂理で、誰でも100%の確率で死にます。

- ▶ 当日は移植医療の話を通して、一緒に「いのちの尊さ」「いのちの重さ」「いのちの大切さ」について考えていきましょう！！
- ▶ 今回はそのウォーミングアップです。

いきなり質問です！！

▶ 「生きる」って？

一番伝えたい事は「生かされている」ということに気付くことです。

それには、アンテナが重要！！当日はそのアンテナの立て方がわかるかも！？

当日までに...

いのちの授業

道
徳

死

臓器移植

生

あなたは、これらのキーワードからどんな言葉をイメージしますか？

- ▶ このイメージから、思考回路が止まったりスローになる人もいるかもしれません。
- ▶ 当日は「まじめは大前提で」リラックスして笑顔で考えていきましょう！！
- ▶ 何も「生きる」「死ぬ」とは特別なことではありません。

安心してください。この授業に答えはありません！！

臓器移植を勧めているわけではありません。
歴史・法律・現状を伝えるだけです。

- ▶ この日をきっかけに、自分の考えを持ってください。
- ▶ 知らないで考えることは決していいことではありません。
- ▶ その事柄について、全体・あらゆる角度からの見方をしっかり知ったうえで、
- ▶ それを家族・友人と一緒に考え・話し、多くの人に伝えることが大切です。

当日は、「生」・「死」という言葉が
たくさん出てきます。特に「死」・・・。

▶ 無理をしないでください。

▶ 例えば、「最近かわいがっていた犬が死んだばかりだ」とか「半年前にお祖父さんが亡くなって、まだ気になってしまう。」とか様々な感情があるでしょう。当日は授業を聴いていて、苦しくなったり、つらくて無理な時は保健室で休むことも可能です。

生活の中には、法律を通し、
自分の年齢を振り返る機会があります。

- ▶ 例えば選挙権年齢が引下がりました。
- ▶ 18 歳から選挙に参加できることになりましたね。いのちについても考えるときに、様々な年齢から他者を感じることが色々とあります。
- ▶ 他にはどんなことが考えられるでしょうか？

新型出生前診断

「新型出生前診断」とは？

しんがたしゅっしょうぜんしんだん

- ▶ 母体から採取した血液で胎児の染色体異常を調べる検査のこと
- ▶ わずか20ccほどの血液を注射器で採取するだけで済むため、母体への負担を大幅に軽減することのできるメリットがあり、80～90%前後の確率で胎児の先天性異常を予見することが可能とされている
- ▶ 保険の適用されない自由診療で、一般的には20万円前後の費用がかかる
- ▶ 通常の検査の倍以上の金額がかかり、しかも検査の結果次第では羊水検査による確認検査が必要になることもあり、かなりの経済的負担になる
- ▶ すべての産婦人科で新出生前診断が実施されているわけではなく、日本医学会から正式に認定を受けた総合病院・大学病院に通院しなければならない
- ▶ 受けるためには妊婦本人が自分の意思で申し出る必要があり、出産予定日時点で35歳以上を迎える高齢出産の場合、また妊婦本人あるいはその配偶者に染色体異常が見られるため、胎児がダウン症候群などの先天性疾患を罹患している可能性が高い場合、などの条件を満たさなければ受けることはできない
- ▶ 検査結果は約二週間で出て、胎児のすべての先天性異常を出産前に発見できる¹わけではない

献 血

- ▶ 200m l 献血は 16 歳から
- ▶ 400m l 献血や成分献血は 18 歳から

骨 髄 移 植

▶登録は 18 歳から

▶提供は 20 歳から

移植医療

- ▶ 今回の移植医療の話で、15歳という数字が登場します。
- ▶ 先程の選挙・献血・骨髄移植の話より一番みなさんに近い！！のです。
- ▶ 詳しくは、当日、お話しします。

では、当日 お会いしましょう！